

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	普通預金	0	168,200,408	0	168,200,408
	定期預金	62,864,000	0	9,186,000	53,678,000
	有価証券	225,050,000	0	168,200,408	56,849,592
	基本財産計	287,914,000	168,200,408	177,386,408	278,728,000
特定資産	退職給付引当資産	63,596,832	3,971,000	3,989,928	63,577,904
	特定資産計	63,596,832	3,971,000	3,989,928	63,577,904

(記載上の留意事項)

- 基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載をしている場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。
- 重要な増減がある場合には、その理由、資産の種類具体的な内容及び金額の脚注をするものとする。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	63,596,832	3,971,000	3,989,928	0	63,577,904

(記載上の留意事項)

- 期首又は期末のいずれかに残高がある場合にのみ作成する。
- 当期増加額と当期減少額は相殺せずに、それぞれ総額で記載する。
- 「当期減少額」欄のうち、「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、その理由を脚注する。
- 引当金について、財務諸表の注記において記載している場合には、その旨を記載し、内容の記載を省略することができる。